

講義名	オ)専門基礎演習(人)			
担当教員	高田 宏			
開講期・曜日・時限	前期 火曜日 1時限	授業形態	演習	
履修開始年次	2年生	単位数	2	備考

主題と概要 1回生では夢の種を探し、見つけることを目的に「自己発見とキャリア開発」を履修してもらいました。 2回生前期開講の、当科目では、夢の種を育てるための基礎を築くことを目標とした演習形式の授業です。 *通学困難学生の履修については、オンデマンド方式で実施するため、観光・ホテルを中心とした研究、発表を通し 観光・ホテル の興味を深めると共にプレゼンテーション資料作成技術の向上を計ります。

到達目標 ・ 観光・ホテルを中心とした演習を通し論理思考能力とコミュニケーション能力が向上する。 ・ プレゼンテーション資料作成スキルが向上する。
--

提出課題 随時、課題の提出を求めます。

課題(レポートや小テスト等)に対するフィードバック フィードバックは、mail等で行います。
--

評価の基準 課題提出状況及び記述内容、発表内容、授業への積極性などを総合的に判断します。 課題提出が10回以下の場合、単位認定審査の対象になりません。
--

履修にあたっての注意・助言他 課題提出方法は回によって異なりますのでその都度指示します。 その際Google Formsを使う場合があります。 課題提出には期限があります。期限を過ぎた提出は認めていません。

教科書 ・使用しない。				
-----------------------	--	--	--	--

プリント資料及び参考文献 必要に応じて案内します。

授業計画 1. ガイダンス 2. 第一回個人プレゼンテーション+ディスカッション 3. グループディスカッション 「ホスピタリティを考える」 個人ワークとする 4. ホテルを調べろ 5. 第二回個人プレゼンテーション+ディスカッション (課題を別途提供する) 6. 第二回個人プレゼンテーション+ディスカッション (課題を別途提供する) 7. 座学 ホテル 8. 座学 神戸観光 9. ホテル見学のレクチャー 課題対応 10. グループワーク ホテルプランを作る・1 個人ワークとする 11. グループワーク ホテルプランを作る・2 個人ワークとする 12. プレゼンテーション発表会 13. ホテル見学のプレゼンテーションを終えて 14. 個人ワーク課題 15. まとめ 上記1～15は対面授業のカリキュラム、オンデマンド授業で変更するものは 内に記載 7～12までは高田先生のクラスと合同開催の予定

授業形態(アクティブ・ラーニング)	
ア：PBL(課題解決型学習)	イ：反転授業(知識習得の要素を授業外に済ませ、知識確認等の要素を教室で行う授業形態)
ウ：ディスカッション、ディベート	エ：グループワーク
オ：プレゼンテーション	カ：実習、フィールドワーク
キ：その他(A-L型であるけども、以上の項目のいずれにも該当しない場合)	

準備学修(予習・復習等)の具体的な内容及びそれに必要な時間 ホスピタリティ産業を学ぶ学生は好奇心を持って欲しい。演習で取り上げる課題についてだけでなく、そこから派生する事柄について調べることが重要です。 学生にとっては初めて聴く用語が多いので必ず予習・復習をしてください。 ・予習、発表のための課題提出を行う。(各回 120分) ・復習 各回120分

卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連 到達目標を達成することで共通OPに貢献できる。ホスピタリティ、ホテル、観光について議論・研究することによって、思考力、コミュニケーション力、提案力など観光産業への就業につながる資質を養い、高い能力を発揮できる人材をつくる。
--

双方向授業の実施及びICTの活用に関する記述 オンデマンド授業のため双方向授業は行わない。指導は随時 mail 等を使って行う。
--

実務経験の有無及び活用 実務経験あり ・1981年 株式会社ロイヤルホテル入社。(2018年3月 定年退職) ・「リーガロイヤルホテル東京」「都市センターホテル」「登大路ホテル奈良」と3ホテルの総支配人、ホテル開発部門、マーケティング部門を歴任してきており、その実務経験を活用しホテル・観光の基礎理解のための手法を講義する。
--

備考
